

⑰ }	り表情が生き生きしている。	一人で行けるようになる。	社会性が身についてくる。 • 習字をかくようになる。
⑲			
⑳ }	○セラピストを交代し他のセラピストにもなれさせる。 • ㉑セラピストがかわっても緊張がない。退室後、「お母さんは、仕事なので迎えに来ないよ」と説明する。	○教育センターまで、本人だけでこれるよう経験させる。 • ㉑教育センターに来る時は、母に送ってもらったが、帰りは一人で家に行く。	○みんなの前で話すようにさせる。 • ㉑朝の学活時に二人で司会をとめる。学級全員の健康観察のため「元気ですか」とみんなに呼びかける。 • みんなの前で話すのははじめてである。
㉓ }	○遊戯室をかえて、本人の意のままに遊ぶ。 • ㉑トランポリンや竹馬で遊ぶ。何でも話すようになる	○教育センターまで本人だけでこれるように親がついてこないことをすすめる。 • ㉑・㉒一人で来所 • あいさつができる。	○みんなの前で話すことに自信をつけさせる。 • 仲の良い友人もふえ話す量もふえる。
㉕			

以上の経過をまとめて本人の変容の状態をみると、

3～4月——表情が硬く、視線も合わず、一日中机に座っている。

5月——レポートがとれ、体育や清掃をするようになる。

6月——表情に明るさがみられ、担任とはじめて話す。